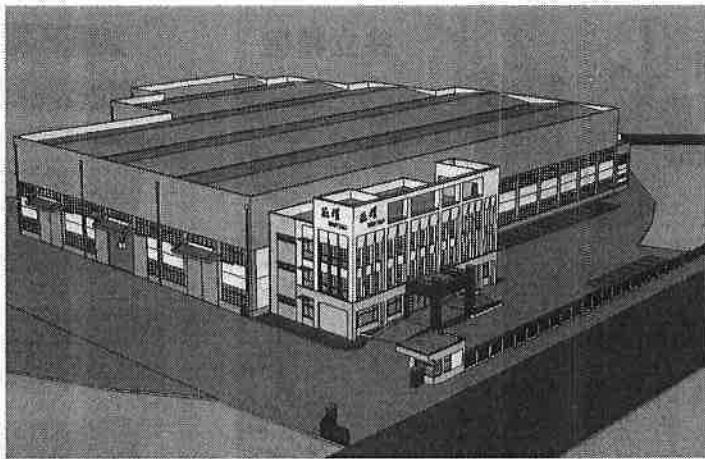


台湾・JERNYAO社

第三工場の建設を開始

納期短縮、品質向上図る

台湾の大手庄造機械（フォーマー）メーカーとして知られる正曜企業股份有限公司（JERNYAO、台南市）は、新たな生産拠点である第三工場の建設を開始した。



第三工場完成予想図

第三工場の敷地面積は1万2560平方メートルで、2023年に完成する予定。本社より車で5分程の距離にある場所に土地を確保したことから、自社工場の増設を決めた。自社の内製化比率を更に高める

ことで納期の短縮を図ると共に品質向上に繋げていきたい考えだ。第三工場完成後は本社工場に設置しているCNC加工機など設備を移動させる予定。従来から内製化を行っている重要な部品に加えて、その他の小物・大物部品に関しても全て自社で加工を行っていく。なおJERNYAO社の庄造機は日本国内でおよそ260台の納入実績があり、傑オ・エス・ワイ（大阪市）が日本市場の総代理店を務めている。同社関係者によれば、コロナ禍を受け生産活動の落ち込みが続いている日本と異なり、台湾ではここ1年半の間世界各地からの注文が続いており、特にヨーロッパからの注文が非常に多いという。関係者は続けて「一方で鋼材価格及び外注費の上昇、また外注部品に関する納期の長期化から台湾機械メーカー及び部品メーカーは厳しい状況にある」と説明している。